

テーマ展「煎茶 - 文雅清遊のいとなみ -」展示作品リスト

番号	名称	数量	作者	時代	所蔵
煎茶の伝来と広まり					
1	いんげんりゅうきちんそう 隠元隆琦頂相	1幅	賛：隠元隆琦	江戸時代 寛文12年(1672)	景德寺
2	かましき(でん いんげんりゅうきしよよう) 釜敷(伝 隠元隆琦所用)	1枚		江戸時代前期	当館 (井伊家伝来資料)
3	せいわんちゃわ 「青湾茶話」	3冊	大枝流芳	江戸時代 宝暦6年(1756)	当館 (井伊家伝来典籍)
4	せんちやしき 「煎茶式」	1冊	増山雪斎	江戸時代 文化元年(1804)	当館 (井伊家伝来典籍)
5	せんちやりやくせつ 「煎茶略説」	1冊	澤田楽水居	江戸時代後期	当館 (彦根藩井伊家文書)
煎茶の道具					
6	そめつけしよんずいうつしはなもんせんちやわん 染付祥瑞写花文煎茶碗	5口		中国・清時代	当館 (井伊家伝来資料)
7	ふんさいえがわりせんちやわん 紛彩絵替り煎茶碗	5口		中国・清時代	当館 (井伊家伝来資料)
8	すずせいちゃたく 錫製茶托	5枚		江戸時代後期～明治時代	彦根市文化財課 (井戸庄三氏寄贈資料)
9	すずせいもっこうがたちやたく 錫製木瓜形茶托	5枚		江戸時代後期～明治時代	当館(山田喜美子氏・知田 淳子氏寄贈資料)
10	すずせいちゃしんこ 錫製茶心壺	1合		江戸時代後期～明治時代	彦根市文化財課 (井戸庄三氏寄贈資料)
11	すずせいけずちゃしんこ 錫製竹匱茶心壺	1合		江戸時代後期～明治時代	彦根市文化財課 (井戸庄三氏寄贈資料)
12	そめつけくさもんちゃしんこ 染付唐草文茶心壺	1合		江戸時代後期～明治時代	彦根市文化財課 (井戸庄三氏寄贈資料)
(参考)	うめず 梅匱	1幅	青根九江	江戸時代後期	当館
13	しゅでいきゆうす 朱泥急須	1口		中国・清時代	当館 (石田承玉氏寄贈資料)
14	しゅでいきゆうす 朱泥急須	1口		中国・清時代	個人
15	らくやききゆうす 楽焼急須	1口	井伊直弼	江戸時代後期	当館 (井伊家伝来資料)
16	はくゆうしぶんかきつけきゆうす 白釉詩文書付急須	1口	大田垣蓮月	江戸時代後期～明治時代	個人
17	そめつけふくじゆもんきゆうす 染付福寿文急須	1口	清水六兵衛	江戸時代後期～明治時代	当館 (秋山重子氏寄贈資料)
18	そめつけくさもんゆざまし 染付草文湯冷し	1口	清水六兵衛	江戸時代後期～明治時代	個人
19	はくじからくさもんゆざまし 白磁唐草文湯冷し	1口		江戸時代後期～明治時代	個人
20	からかねとうてつもかなえ 唐銅饗饗文鼎	1基		江戸時代後期	当館 (井伊家伝来資料)
21	そめつけさんすいずりょうろ 染付山水図涼炉	1基		江戸時代後期	個人
22	おうどうなんきんがたゆわかし 黄銅南瓜形湯沸	1口	金屋五郎三郎	江戸時代後期	当館 (井伊家伝来資料)
23	こそめつけさんすいもんすいちゆう 古染付山水文水注	1口		中国・明時代	当館 (井伊家伝来資料)
24	しでいろっかくすいちゆう 紫泥六角水注	1口		中国・清時代	当館 (井伊家伝来資料)
25	しでいききずすいちゆう 紫泥花卉図水注	1口		中国・清時代	当館 (井伊家伝来資料)
26	しでいさんすいずすいちゆう 紫泥山水図水注	1口		中国・清時代	当館 (井伊家伝来資料)
27	しでいきめんりょうろ 朱泥鬼面涼炉	1基		中国・清時代	個人
28	すずせいちゃしんこ 錫製茶心壺	1合		江戸時代後期～明治時代	個人

番号	名称	数量	作者	時代	所蔵
29	しゅでいきゆうす 朱泥急須	1口		中国・清時代	個人
30	そめつけりゆうずゆざまし 染付龍図湯冷し	1口		江戸時代後期～明治時代	個人
31	そめつけりゆうもんせんちやわん 染付龍文煎茶碗	5口		江戸時代後期～明治時代	個人
32	しゅうるしぬりちやたく 朱漆塗茶托	2枚		江戸時代後期～明治時代	個人
33	きじかきもんちやそく 木地花卉文茶則	1枚		江戸時代後期～明治時代	個人
34	もくせいききよく 木製器局	1基		江戸時代後期～明治時代	個人
湖東焼の煎茶道具					
35	ことうやき あかえきんさいからじんぶつぜんちやわん 湖東焼 赤絵金彩唐人物図煎茶碗	5口	鳴鳳	江戸時代後期	当館 (井伊家伝来資料)
36	ことうやき あかえきんさいめいかじゆうゆうぜんちやわん 湖東焼 赤絵金彩銘花十友図煎茶碗	5口	自然齋	明治時代	個人
37	ことうやき あかえきんさいかちょうずきゆうす 湖東焼 赤絵金彩花鳥図急須	1口	自然齋	明治5年(1872年)	個人
38	ことうやき そめつけりゆうずきゆうす 湖東焼 染付龍図急須	1口		江戸時代後期	当館
39	ことうやき そめつけからくさもんちやたく 湖東焼 染付唐草文茶托	5枚		江戸時代後期	当館 (井伊家伝来資料)
40	ことうやき そめつけさんすいずすいちゆう 湖東焼 染付山水図水注	1口		江戸時代後期	個人
煎茶の飾り					
41	ごじしょ 五字書「室雅何須大」「花香不在多」	2幅	日下部鳴鶴	明治25年(1892年)	当館 (石田承玉氏寄贈資料)
42	めのうたからぶくろがたすずり 瑪瑙宝袋形硯	1合		江戸時代	当館 (井伊家伝来資料)
43	ろうせきももがたにくち 蠟石桃形肉池	1合		江戸時代	当館 (井伊家伝来資料)
44	からかねうしぼくどうすいてき 唐銅牛牧童水滴	1口		江戸時代	当館 (井伊家伝来資料)
45	ろうせきやまがたひつか 蠟石山形筆架	1基		江戸時代	個人
46	からじんぶつぜんびよう 唐人物図硯屏	1基		江戸時代	個人
47	ことうやき あかえきんさいまるもんちらしけんびよう 湖東焼 赤絵金彩丸文散硯屏	1基	鳴鳳	江戸時代後期	個人
48	ことうやき そめつけたけばしょうずひつとう 湖東焼 染付竹芭蕉図筆筒	1口		江戸時代 天保5年(1835年)	当館 (遠城和雄氏寄贈資料)

作品解説

1 「青湾茶話」 3冊 (作品リストNO. 3)

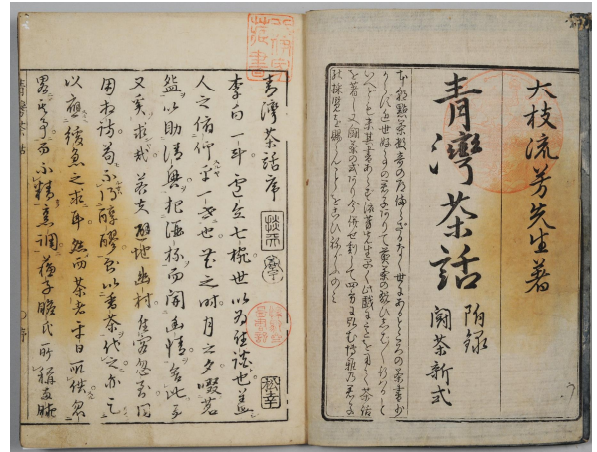
せいわんちゃわ
おおえだりゅうほう
大枝流芳 作

縦23.0cm 横16.0cm

江戸時代 宝暦6年 (1756)

当館蔵 (井伊家伝来典籍)

煎茶の入れ方や道具の説明などが記された書。
日本で著された煎茶の解説書としては、現存する
中で最も古い書物です。著者の大枝流芳 (生没年
不詳) は、大坂出身の儒学者で、風流に精通した
好事家として知られます。井伊家12代直亮の蔵書
の一つ。



2 染付祥瑞写花文煎茶碗 5口 (作品リストNO. 6)

高3.7cm 口径6.4cm

中国・清時代

当館蔵 (井伊家伝来資料)

煎茶用の5客揃いの茶碗。口縁を
花形で形作り、その形に沿うように
細かな文様を描いています。煎茶道
具は特に中国製のものが尊ばれ、そ
の中でも特に、本作のような白い磁器の煎茶碗は、茶の繊細な香りや味、色味を楽しむ上で最適と
されてきました。



3 楽焼急須 1口 (作品リストNO. 15)

井伊直弼 作

口径6.5cm 高5.8cm

江戸時代後期

当館蔵 (井伊家伝来資料)

井伊家13代直弼自作の急須。急須は、葉茶を入れ、
湯を差して煎じ出すための容器です。この急須は、
外面に灰色の上釉が掛けられ、呉須で大きく「柳
王舎」の文字と「無根水」の銘が胴部に記されてい
ます。柳王舎と無根水はともに直弼の号です。直弼
は、茶の湯の研鑽に努めた人物として知られますが、
本作から、抹茶だけでなく煎茶も嗜んでいたこと
がうかがわれます。関東大震災罹災品。



4 ^{からかねとうてつもんかなえ} 唐銅饗餮文鼎 1基 (作品リストNO. 20)

高27.9cm 最大幅23.8cm

江戸時代後期

当館蔵 (井伊家伝来資料)

湯を沸かす火をおこすための火鉢。鼎^{かなえ}という中国古代の三足の祭祀用金属器を模した形で、胴や脚に、中国古来の怪獣面をモチーフにした饗餮文^{とうてつもん}という文様が刻まれています。通常、煎茶の湯を沸かすための炉としては、涼炉^{りょうろ}という円筒形の炉が用いられますが、香炉や火鉢などを転用して用いることも多く行われました。特に、本品のような鼎形で饗餮文をあしらった火鉢は、煎茶席で好んで用いられたものの一つです。



5 ^{ことうやき そめつけさんすいすいすいちゆう} 湖東焼 染付山水図水注 1口 (作品リストNO. 40)

口径8.7cm 高18.9cm

江戸時代後期

個人蔵

湖東焼の水注。水注は煎茶を点^たてる際に必要な水を入れる器です。煎茶道具の中でも鑑賞的な要素が強く、煎茶席のしつらえに欠かせない存在とされてきました。本作は、整った器形に巧みな絵付が映え、湖東焼の中でもとりわけ優美な作品です。

